

「OFIXニュース (OFIX News)」 (第32号) (2011.3.31)
(財)大阪府国際交流財団 (OFIX) メ-ルマガジン

目次

- 【01】お知らせ
義援金のご協力
- 【02】事業報告 1
医療通訳ボランティア研修を開催しました。
- 【03】大阪府外国人情報コーナーだより
東北地方太平洋沖地震関連情報
- 【04】事業報告 2
大阪府海外移住家族会
- 【05】OFIX奨学生のレポート
OFIX 2009年度奨学生 于 涛 (ウ トウ)
- 【06】OFIX国際交流員のレポート
～南の国から～

【01】お知らせ

義援金のご協力

東北地方太平洋沖地震の被災地に対する義援金を募集しています!

東北地方太平洋沖地震の被災者に対し、多くの府民の皆様から善意の申し出をいただいております。被災地の方々に対する義援金のお申し出につきましては、府として、受け入れ窓口を日本赤十字社に一元化し、募集することとしておりますのでご協力をお願いいたします。

大阪府府民文化部都市魅力創造局文化課

義援金受付 日本赤十字社 大阪府支部 (<http://www.osaka.jrc.or.jp>)
電話 06 - 6943 - 0707
受付口座 郵便局・ゆうちょ銀行
口座記号番号 00140 - 8 - 507
口座加入者名 日本赤十字社 東北関東大震災義援金
取扱期間 平成23年3月14日(月)～9月30日(金)

郵便窓口で取り扱いの場合、振替手数料は免除されます。

大阪府外国人情報コーナー(06-6941-2297)の方では震災関連の情報提供・相談を多言語で受け付けています。お問合わせください。また、OFIXホームページでは、震災関連情報について多言語で対応しているウェブサイト掲載しています。

【02】事業報告 1

医療通訳ボランティア研修を開催しました。

3月2日(水)と6日(日)の二日にわたって、大阪市住吉区にある大阪府立急性期・総合医療センターの3階講堂で、今年度も医療通訳ボランティア研修を開催しました。大阪府国際交流財団では一昨年の平成20年度からこの研修事業を行ってきました。20年度は、「AMDA国際医療情報センター関西」と「りんくう医療総合センター市立泉佐野病院」と連携して、新しく医療通訳ボランティアとして活動を始めたいという方を対象に養成のための研修を行いました。そして、昨年21年度は、前年に受講された方々を主な対象として、医療通訳としての活動を始められた方にさらに研鑽を積んでいただくための、ブラッシュアップの研修を実施しました。

今年度は、どのような内容の研修にするべきか前もって医療通訳に関わっている方々に聴き取り調査を行った結果、ボランティアとして登録はしていても、なかなか実践の場を踏む機会がないという方が多いということが分かりましたので、今年度も昨年と同じくすでにボランティアとして登録をされている方々を主要な対象とする研修を企画しました。特に、今年度は、地方独立行政法人大阪府立病院機構と連携をとることができましたので、病院機構に登録されているボランティアの方々呼び掛けて、一昨年、昨年を大きく上回る方々の受講申込をいただきました。

研修は、2日間、朝10時前から夕方4時過ぎまでで、その内容は、第1日の在日外国人をとりまく医療問題や医療制度等の講義にはじまって、医療通訳のコーディネイト業務を巡るワークショップ、2日目の医療通訳の実際を体験するロールプレイ、医療通訳の現状と課題を巡るパネルディスカッションと多岐にわたるものでした。研修を受講された方は、71名に上りましたが、当日行ったアンケートに対して全ての方が良い研修だったとお答えになり、その内「とても良かった」と答えられた方が80%に上りました。また、府立病院機構に新たに通訳ボランティアとして登録された方も13名に達しました。

これらの医療通訳ボランティアの方々の活躍によって、大阪に在留されている、あるいは、観光等で訪問をされる外国人の方々が、言葉の障壁を超えて、安心して医療を受けられるという状態が実現していくことが望まれます。

【03】大阪府外国人情報コーナーだより

東北地方太平洋沖地震関連情報

東北地方太平洋沖地震とその後の津波により多くの被害がでています。また、それに伴い原子力発電所の事故が発生しました。大阪にお住まいの外国人の方も心配していると思いますが、正しい情報を入手して、冷静な判断をしましょう。インターネットでは現在色々な震災関連の情報を多言語で載せていますので、アクセスしてみてください。情報は刻々と変わっていますので、最新情報を入手するとともに、デマや噂に惑わされないようにしましょう。

安否情報：

Googleサイト

<http://japan.person-finder.appspot.com/?lang=ja>

赤十字国際委員会

<http://www.familylinks.icrc.org/>

地震関連情報窓口：

東北地方太平洋沖地震多言語支援センター

<http://tabumane.jimdo.com/>

外国人のための2011年東北地方太平洋沖地震関連情報（総務省）

http://www.e-gov.go.jp/link/disaster_en.html

地震関連情報提供：

NHKワールド17言語ニュース：

<http://www3.nhk.or.jp/nhkworld/english/info/select.html>

大阪大学世界言語研究センター：

<http://riwl-disaster.info/>

環境防災Nネット（原子力発電）

<http://www.bousai.ne.jp/eng/index.html>

大阪府外国人情報コーナー

（月～金曜日（祝日を除く））

専用電話：06 6941 2297（対応時間：9:00～17:30）

FAX：06-6966-2401 E-mail：johou-c@ofix.or.jp

対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語、タイ語、日本語

【04】事業報告 2

大阪府海外移住家族会

「在日日系人の今を考える」と題して研修会を開催しました

大阪府海外移住家族会（会長：山本 久 事務局：OFIX）は2月24日（木）、マイドームおおさか8階会議室において平成22年度の研修会を開催しました。

会員12名、会員紹介の友人2名、OFIX語学ボランティア、登録相談員等3名、来賓としてJICA大阪 酒井所長 様、同じく国際協力推進員 中川 様、大阪府より府民文化部 都市魅力創造局 国際交流・観光課 交流グループ副主査 赤坂様にご参加いただき、JICA大阪 酒井所長 様の挨拶のあと、大阪府の赤坂様に大阪府の府民文化部 都市魅力創造局 国際交流・観光課 岡田 副理事兼課長のメッセージをご披露いただきました。

今回の講師として、(財)なら・シルクロード博記念国際交流財団のポルトガル語相談員として勤務しておられる、奈良県在住の日系ブラジル人の玉田 エミリア 美恵さんをお願いいたしました。

玉田エミリアさんは1989年来日され、様々な経験を踏まえて現在のポルトガル語相談員の職務をこなされており、今回の講演では、「在日日系人の今を考える」と題してお話を伺いました。100年以上前に日本からブラジルに移住された皆様の苦労や、その努力により勝ち得た今の日系人のブラジルでの高い評価、その後25年程前から始まった日本での日系人受け入れでの様々な問題点について言及され、特に日本における日系人の子供たちへの教育の問題について日本政府はもっと本気で取り組むべきであると訴えられ、日本社会においても、文化の多様性をもっと理解すべきであると問題提起されました。

講演会の後の交流会では、参加者の皆さんが一緒に玉田さんのご苦労をねぎらい、今後、大阪府海外移住家族会としてもあらゆる協力を行うことで一致いたしました。

パラグアイ移民から日本に戻られた家族会の会員の皆様の歌の披露などもあり、熱気のある中にも和気あいあいと研修会を終了いたしました。

事務局（OFIX）といたしましては、今後も積極的に今回のような研修会などを開催していきたいと考えております。

大阪府海外移住家族会では在外、在日日系人とその家族を支援するために新しい会員を募集しております。詳細は事務局までお問い合わせください。

【05】OFIX奨学生のレポート

OFIX 2009年度奨学生 于 涛 (ウ トウ)
3/11(金)に発生した東北地方太平洋沖地震により亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様とその家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

OFIX 2009年度奨学生の于 涛(ウ トウ)と申します。現在大阪大学医学系研究科博士課程で再生医療分野のiPS細胞の研究に取り組んでいます。来年の3月に卒業する予定ですので今就職活動も頑張っています。

私はOFIXの奨学生として、国際交流にもっと貢献できるように2010年4月から卒業生を含めて1100余りの留学生会員を持つ大阪大学中国留学生学友会の会長に就任させて頂きました。留学生達によりよい日本の文化への理解と留学生生活を豊かにさせる主旨で自らいろいろなイベントを開催しました。例えば2010年4月に100人参加の和歌山桃山祭、7月に120人参加の岡山瀬戸内海旅行、9月に240人参加の中秋パーティーと2011年1月に260人参加の春節パーティーなどの運営を成功させました。実際に様々なバックグラウンドの人々と接し、イベントの企画、費用の管理等の役割を果たしながら、その楽しさを強く感じました。活動の中では、みんなが力を合わせているという困難を乗り越えて、お互いの観点をぶつけあいながら、国際交流のために貢献できるようなイベントを作り上げました。この経験を通して、力を合わせて物事を成功できた時の達成感を実感し、様々な国の多様な価値観を持つ人と出会い、相互理解を深めるとともに多くのものを吸収し、コミュニケーション能力を高め、視野を広げ、多くの視点から物事を考えられるように成りました。奨学生の役割として実行できたと思います。

このようなイベントの中で私は学友会の会長として留学生たちの間での交流、生活・勉強上の助け合いを促すことと、日中友好団体(大阪府、吹田市、豊中市、池田市、高槻市など)の日中友好協会)、日本の友人、在日華僑などとの交流を通じて、未来に向ける日中両国の国民の間での友好関係を発展させるために努力しています。この経験から、日中両国友好の重要性は肌で感じています。企画したイベントの中でチームワークの重要性も十分理解でき、人々の様々な立場で考えることがとても重要なことが分かりました。これからも、人と人の信頼関係を最も大切にしたいと考えています。

私は2003年4月に来日し、もうすぐ8年に成ります。この8年間の留学生活の中で、苦しいことや悲しいことがいっぱいありましたが、この経験から積極的に挑戦していけば、自分の可能性はもっと広がることが分かりました。特に大阪大学中国留学生学友会の会長を務めてから、みんなと早く信頼関係を築き、言語の壁を越えて、コミュニケーション能力を伸ばしたと思えました。多様な価値観を持つ人間と接することを通じて、人のいいところを吸収し、自分を変化させ、更に成長しました。今後、自分の短所を改善しながら長所を伸ばしたいと思っています。将来、私は外国人のバックグラウンドや独自の目線と国際交流活動の経験から学んだノウハウを生かして、友好な国際社会に貢献したいと考えています。

今後とも どうぞ よろしく願い致します。

【06】OFIX国際交流員のレポート

言語を学ぶ：日本語学習の経験から
皆さん、こんにちは！OFIXのアルビンです。
まず、東北地方太平洋沖地震の被災者に心からのお悔やみを申し上げたいと
思います。この危機がすぐ終わり、これ以上の犠牲者が出ないようにお祈り
します。

さて、今月は「言語学習」について話したいと思います。読者の中にも、日本語、
英語、あるいは他の外国語を勉強している人は多いと思います。そこで、どうやって
言語を勉強すればいいのか、知りたい方も多いと思います。人それぞれに合ったやり
方があるので、全ての人に適する効果的なやり方はないと思いますが、今回私の経験
から、どのように日本語を覚えたのか、お話ししたいと思います。

赤ちゃんはどのように言葉を覚えるのか、考えた事がありますか？赤ちゃんは、
まず周りの人が発する音を聞いて、音を認識します。そして、その音をまねようと
します。それから、音には「意味」がある事に気づいて、音と意味を結びつけます。
これが赤ちゃん言葉です。知っている単語が増え、失敗しながら少しずつ文章の構造
を理解し、話せるようになります。子どもは次に読み方を覚えて、それから書き方を
覚えます。つまり、言葉の学習過程は「聞く 話す 読む 書く」という順番です。
今回は「聞く 話す」について話します。

言語を習うには、まずその言語の音に慣れる事。
よく音楽を聴いたり映画を観たりして、その言語の音に耳を慣らします。何を聞いて
いるのか分からなくてもかまいません。どこからどこまでが一つの言葉だったか分かる
ようになれば、それでいいです。私は日本語を勉強していた時に、よく日本の歌を
聴いていました。特に好きな歌は何度も聴いて、意味はわからなかったけど、一緒に
歌いたかったので、歌詞を書いていた。その後、日本人の友達に見せて添削して
もらいました。間違っていたところは多かったけど、いい練習になりました。テレビ
や映画を見る時は場面の状況を注意して、ある場面ではどういうことを伝えようとして
いるのかを想像してみてください。見れば見るほどそのうち分かってきます。例えば、
日本に初めて長期滞在した時に「走らんか」というNHKドラマを見ていて、博多弁を
使っていたので、「なして」とか「ばってん」とか何を言っているのかよくわかりませ
んでした。しかし、見れば見るほど、言葉の意味が分かってきました。

よく使うものから覚えること。
言葉と言うのは使わないと覚えられないものです。ですから、いくら単語をたくさん
覚えても、あまり使わない単語だったら、忘れてしまいます。身近なものや、よく使う
会話を先に覚えて、なるべく毎日、使う事です。

その日に習った文法と単語を使う機会をすぐに探すこと。
勉強したことをその日に使っていますか。ほとんどの場合は使っていないでしょう。
でも、その日に勉強した単語・文法を（使う機会を作って）使えば、忘れる可能性は低い
でしょう。

単語単位ではなく文章単位で覚えること。
ほとんどの人は文法を覚えて、そして、単語をたくさん覚えようとしています。単語は
もちろん重要だけど、単語単位で覚えるよりは文章単位で覚えた方がいいです。文法
だって、どうしても分からない文法があると思いますが、どの場面でもどの文章を使えば
いいのかを覚えていれば、文法が分からなくてももっと自然な会話ができるようにな
りましょう。

聞いた文章をそのまま真似ること。
言葉は歌と同じです。音が上がったり下がったりし、強くなったり弱くなったりします。
音の微妙な変化に注意をして、真似てみましょう。

恥ずかしがらないこと。
言葉を使わないと上手くなりません。間違えることを恐れるな。自分の発音を気にするな。
怖がったり、気にしたりしたら、進歩できませんよ。

以上、私が思う言語の学習方法です。次回の国際交流員レポートまでに、たくさんの
言葉を覚えられるように、頑張ってくださいね。

大阪府メ-ルマガジン情報 『GEO (Global E-net Osaka)』
大阪で開催されるイベント・大阪の名所・大阪に関する豆知識等を紹介する
メ-ルマガジンです！
<http://www.pref.osaka.jp/kokusai/geo/index.html>

その他の募集・お知らせ
上海万博大阪出展に関する寄付金を募集しています！
<http://www.ofix.or.jp/news.html#syanghai>
イベントカレンダー：国際交流に関するイベント情報を紹介しています。
<http://www.ofix.or.jp/cgi-bin/calender.cgi>
イベントカレンダーへの情報提供をお待ちしています。
<http://www.ofix.or.jp/cgi-bin/event.cgi>

32号配信版日本語.txt

国際理解学習の授業（小中高）に国際交流員や留学生等を派遣します。

<http://www.ofix.or.jp/jigyuu/index2.html>

OFIXボランティアの登録制度のご紹介

http://www.ofix.or.jp/boran/index3_1.html

OFIX賛助会員の募集及びご寄付のお願い。

http://www.ofix.or.jp/ofix/index4_1.html

=====

OFIXニュースについてのご意見、ご感想はこちら

info@ofix.or.jp

大阪国際クラブの会員の皆様からの海外情報（レポート）はこちら

clubnews@ofix.or.jp

配信中止、配信先変更はこちら

<http://www.ofix.or.jp/mail/index.html#japanese>

「OFIXニュース」印刷版はこちら 写真入りで内容も詳細に。

http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber/mail_japanese_no30.pdf

バックナンバー

<http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber.html#japanese>

=====

発行：(財)大阪府国際交流財団（OFIX）

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイド-ムおおさか5階

TEL 06（6966）2400 FAX 06（6966）2401